

病害虫発生予察注意報第2号

佐賀県

現在、果樹カメムシ類の予察灯での誘殺虫数が急増しており、今後、本虫が果樹園へ飛来し、被害を及ぼす恐れがあります。ついては、以下を参考に防除を徹底してください。

作物名：果樹全般

病害虫名：果樹カメムシ類



1) 注意報の内容

発生地域：県内全域
発生量：平年より多い

2) 注意報発令の根拠

- (1) 県内3ヶ所（小城市、佐賀市、太良町）に設置している予察灯のうち、小城市及び佐賀市において、8月第2半旬以降に本虫の誘殺虫数が急増している（図1参照）。
- (2) 8月1～3日に行ったヒノキ毬果の調査において、一部で本虫による毬果の吸汁が進行した地点が認められており、今後、ヒノキ毬果から離れて、果樹園へ飛来すると考えられる（8月9日付病害虫対策資料第6号参照）。
- (3) 福岡管区气象台が8月17日に発表した九州北部地方の向こう1ヶ月の予報では、気温が平年より高いと予想され、本虫の発生に好適な条件となっている。

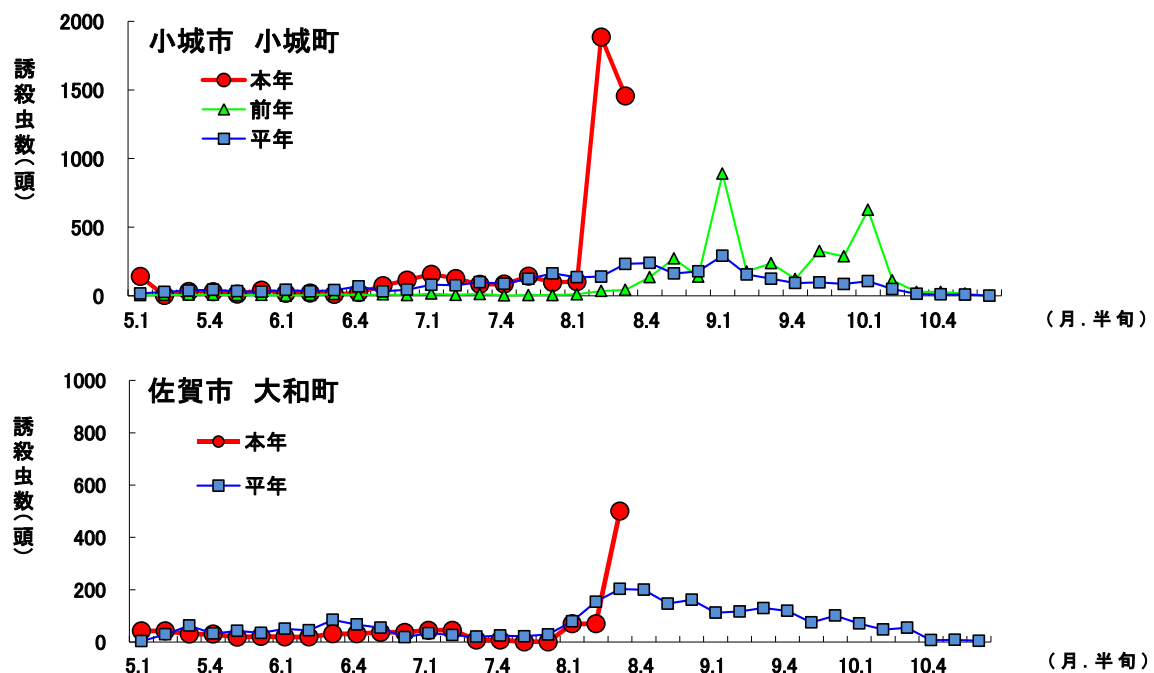


図1 小城市及び佐賀市に設置した予察灯での果樹カメムシ類の誘殺虫数の推移

3) 防除対策

- 1) 飛来状況は地域や園地により大きく異なるため、園内外をこまめに見回り早期発見に努める。
- 2) 本虫は、果樹園へ侵入した後、集合フェロモンで仲間を大量に呼び寄せ被害を大きくする。このため、本虫の果樹園への飛来を認めたら、早急に殺虫効果・吸汁阻止効果が高い合成ピレスロイド系薬剤やネオニコチノイド系薬剤による防除を実施する（防除薬剤は、8月9日付病害虫対策資料第6号参照）。
- 3) 薬剤散布の際は、周辺作物への飛散を防止するとともに、収穫前使用日数及び使用回数等の安全使用基準を遵守する。
- 4) 台風襲来等の強風後は、本虫が果樹園に飛来する恐れがあるので十分に注意する。
- 5) 防風樹であるスギ、ヒノキ、サンゴジュなどの結実した実は刈り込むなどして除去する。また、本虫は樹高の高い樹木に一度飛来して、その後果樹園に飛来する傾向があるので、防風樹等は必要以上に高くないように剪除する。
- 6) 施設栽培では、開口部に防虫ネット（4ミリ目以下）を設置する。
- 7) 今後の発生状況については、農業技術防除センターが発表する本虫に関する情報を参考にする（<http://www.pref.saga.lg.jp/kiji00321899/index.html>）。

連絡先：佐賀県農業技術防除センター 病害虫防除部 〒840-2205 佐賀市川副町南里 1088 TEL (0952) 45-8153 FAX (0952) 45-5085
--